

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の入替りもあり、認知症介護の知識と技術を中心に、基本から学ぶ機会が必要となっている。28年度外部研修参加の機会が少なかったため、29年度は多くの職員が参加できるような研修計画を立案していく。	個々職員の目標に沿った研修に、計画に基づいて参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の自己啓発目標と全体の研修計画の策定 ・事業所内認知症勉強会の継続 ・認知症ケアに関する事業所独自のマニュアルの作成 	12ヶ月
2	26	現在ケアマネジメントの体制の基本は出来ている。新入職員も含めてより有効なプランの作成と実施が出来るようにしていくことが必要。	認知症の本人の視点に立ったケアマネジメントを行い、目的を明確にし、それを実現するためのケア、を意識した取り組みが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカンファレンスの有効活用 ・担当者の位置づけを明確にし、担当する利用者のアドボケーターとして、ケアプラン立案に参加する意識を定着する。 ・評価をしっかりと行い、プランの継続性を大事にする。 	12ヶ月
3	23 24 25	現在使用しているアセスメントツールを見直し、センター方式シートをベースにして情報の整理と集約を行いたいと考えているが、28年度に実施で来っていない。	現在1部をアレンジしているセンター方式シートに全面的に統一して、情報収集・課題分析を行えるようする。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が中心に自分の担当利用者整理を行う。 ・「センター方式シート」の意義と活用方法を全員が理解できるよう、勉強会等で学ぶ機会を作る。 ・センター方式を有効活用できるように「ひもときシート」もツールとして使用できる土壌を作る。 	6ヶ月
4	18	入居者の重度化により以前に比べると外出機会減少している。28年度には入居者が大幅に入れ替わったため、29年度は機会を増やしていきたい。	日常的に外出する機会を増やし、より健康的で積極的な生活を送れるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画に季節に合った外出機会を多く取り入れる。 ・日頃の散歩やゴミ捨てなどの機会を活かして外出につなげる。 ・ボランティアや家族の協力を得ながら、安全で楽しい外出が出来るようにする。 	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。